

としょかんだより

片平小学校図書館

平成25年度夏休み



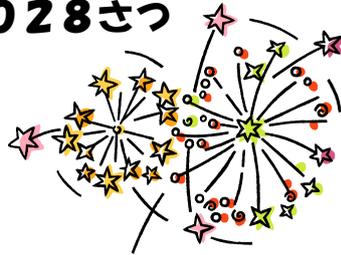
1学期の貸出冊数

1ねんせい	413さつ
2年生	642さつ
3年生	501さつ
4年生	1、194さつ
5年生	256さつ
6年生	2、028さつ

夏休みの本を返す日
8月26日(月)

40冊以上本を読んだみなさんに、
「もう1冊借りられる券」をプレゼントします。

ゆかたのはじまり



ゆかたは、花火大会、ぼんおどりなど、夏によくあうきものです。

平安時代に、貴族など身分の高い人たちが”ゆかたびら”というものを着て蒸し風呂に入っていました。これが、”ゆかた”のはじまりです。

その後、ぼんおどりがさかんになり、はでなもようの”おどりゆかた”がはやり、町のあちらこちらで、おそろいのゆかたを着た男女の姿がみられたそうです。



うねめの里『片平町』 (うねめ伝説)

およそ1,200年前、奈良の葛城王(かつらぎおう)に采女(うねめ)として召された春姫(はるひめ)が、許婚と家族を恋しく思い、奈良の猿沢の池に身を投じたと見せかけて、安積の里<片平町>に舞い戻ってきます。しかし、みな亡くなっており、春姫は生きる望みを失い、許婚の入水した山の井の清水に身を投げてしまうという悲恋物語。

[この山の井清水の周辺を公園として整備し、うねめまつり初日に行われる「うねめ供養祭」がおこな

